

明日にむかって

発行 社会福祉法人陽光会/陽光保育園/板橋第十小学校学童クラブ 発行日 2008年3月31日
編集 「明日にむかって」編集委員会 住所 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03(3956)1068

55号

3月20日、陽光保育園の第59回卒園式が行われました。あいにくの荒れ模様のお天気でしたが、16人の子どもたちが、大勢の大人に見守られて巣立っていきました(本紙裏面参照)。歌の大好きな子どもたちで、卒園に向けて新しい曲をたくさん練習しましたが、すぐに覚えてしまうその早さに驚かされました。子どもたちの歌声に包まれた陽光保育園のホールで、一生懸命な子どもたちの姿に感動し、励まされ、保育に携わることの幸せを改めて感じました。まっすぐな目をした子どもたちが、これからもそのまっすぐな輝きを失わずに生きていくためには、私たち大人がよりよい環境をつくってあげなければいけません。「しっかりとしなければ!」と、肝に銘じました。(T・R)

親子でいっしょに遊みましょう



陽光保育園では、「保育園の子どもたちといっしょに遊ぼう」「リズムあそびを体験したい」「離乳食や子育ての相談のついでに」「など、地域の方々のご要望にこたえ、親子で参加できる広場を月一回設けています。今回は、その「親子でいっしょに遊ぼう」の催しについてご紹介します。親子で気軽に遊びに来てください。無料です。

*0歳のお子さんは、室内にて、赤ちゃん体操やあやしあそびなどでゆったり過ごすと予定です。
*砂あそび、水あそびに参加される方は、タオルと着替えをご持参ください。
*お天気により活動を変更する場合があります。

2008 / 年間スケジュール

4月 24日(木) 砂あそび 保育園の砂場でいっしょに砂あそびを楽しみましょう	5月 15日(木) リズムあそび ピアノに合わせてたくさん身体を動かしてみよう!!	6月 19日(木) さんぽ 近くの公園へいっしょに出かけて遊ぼう!! ※看護師が健康について相談をうけます。	7月 10日(木) リズムあそび ピアノに合わせてトンドロにのったり、ワサザにのったり...楽しんで身体を動かしましょう。
8月 21日(木) 水あそび 公園のシャワーゲルにいいよ!に出かけ、水あそびを楽しみましょう!!	9月 18日(木) 砂あそび 変化する素材(水、砂)をたぶらして、手指をいっしょに動かして遊ぼう!!	10月 16日(木) リズムあそび ピアノに合わせて楽しく身体を動かしましょう!! ※栄養士が食について相談をうけます。	11月 20日(木) 焼きいも 保育園で火いもを焼いたら、たき火で作るホクホクの甘い焼きいもをいっしょに食べよう!!
12月 17日(木) リズムあそび リズムをうたって身体を動かそう!! ホカホカ あたたかく履きましょ!! すよ!! 寒い冬を元気にすごしましょう!!	1月 15日(木) 室内あそび おままごとあそびをしよう!!	2月 19日(木) 室内あそび 小麦粉に水を混ぜて小麦粉粘土を作ろう!! 粘土あそびを楽しみましょう!!	3月 12日(木) さんぽ 近くの公園へいっしょに出かけて遊ぼう!!

場所 陽光保育園
時間 午前9時30分～11時
(赤ちゃんは10時30分まで)
対象 0歳児～就学前のお子さんとお父さん、お母さん。
発達に障害のあるお子さんも大歓迎です。
連絡先 陽光保育園 ☎3956-1068

リズムあそび

室内あそびのひとつに「リズムあそび」があります。ピアノの曲にあわせて体を動かして遊べます。はじめは保育士の動きをマネして動いていくうちに、曲が変わって動きも変わったり、ピアノはねる「うさぎ」や、じつくり止まる「カメ」など、いろいろな動きができるようになってきます。レパートリーはたくさんあり、どんどん進むうちに体も心もポカポカしてきて、親子でいっしょに楽しめます。

散歩

公園までの道のりはとても楽しいものです。犬や猫に出会ったり、工事現場のクレーン車の動きに釘付けになったり、春には草花を摘んだり、心を躍らせながら歩きます。公園ではブランコやスベリ台、シーソーなどの遊具に何人かずつ集まり、関わりながら遊ぶなかで、笑いあったり、時にはけんかをしたり、集団のなかで「順番ね」と、友だちにゆずる気持ちも育っていきます。お友だちと共感できたうれしい思いが「明日もまた遊ぼうね」という気持ちにつながっていきます。



木漏れ日のなか、思わず駆け出してしまおう



今日はお部屋で粘土あそび。真剣なまなざしの子どもたち

室内あそび

子どもたちは、ごっこあそびが大好きです。今、特に好きなのは動物園ごっこです。椅子が電車やバスに早変わり。「おのりください」「はっしゃします」「はい、つきました」「ごっこおひさま」など、会話ははずみます。動物園の入口を入ると、メーデーと、ヤギがいます。ヤギも子どもたちが演じます。カバになったりワニになったり、次々に役が替わり、ごっこあそびが発展していきます。特にオモチャはなくても、子どもたちの物語世界はさまざまに発展していきます。室内あそびでは、そんなごっこあそびや粘土あそびをします。



ピアノの音にあわせ、手をつないでリズムあそび

陽光保育園で、年間を通して大事にしているあそびのひとつが砂あそびです。自在に変化する砂は、幼い子どもにとって、とても魅力的な素材です。道具を使って砂を掘る、山をつくる、そこへ水を運んで池ができ、川ができる。その湿った砂でおだんごやケーキをつくる...と、子どもたちは夢中になって遊びます。年齢が高くなると、山や川を飛び越えて、ダイナミックなあそびをするようになります。

砂あそび

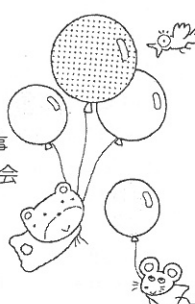


砂あそびは、乳児から幼児まで、ともかく楽しい!

輝け! 子どものいのちと笑顔 ひろげよう平和への願い 第40回 全国保育団体合同研究集会 in TOKYO

「全国保育団体合同研究集会」(通称:合研)は、毎年会場を変え、全国各地で開催されていますが、40回目を迎える今年は、東京で開催されます。父母、保育士、幼稚園教諭、給食関係者、保育研究者、医療従事者、学生など、毎年1万人以上がつどい、子どもたちのすこやかな成長を願って、話し合い、学びあい、交流する、楽しい集会です。どなたでも参加できます。どうぞお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

とき 8月2日(土)～4日(月)
場所 全体会:有明コロシアム
(ゆりかもめ有明下車、りんかい線国際展示場下車)
講座・分科会:明治大学和泉キャンパス(京王線明大前下車)
同大学駿河台キャンパス(JR御茶ノ水下車)
参加費 3日券:一般9,500円 学生5,000円 / 1日券:3,500円
日程(予定) 8/2(土) 開会全体会、オープニングフォーラム、文化行事
3(日) 市民子育て講座(池添素さん)、基礎講座、分科会
4(月) 全体会、記念講演(辛淑玉さん)
*保育あります(有料)。事前のお申し込みが必要です。
*詳細は、4月中旬以降発行の案内書をご覧ください。
*お問合せは、陽光保育園・高田 ☎03-3956-1068、または TOKYO 合研実行委員会事務局(東京保開協 ☎03-5327-3150)まで。



ごあんない
◆陽光保育園後援会・春の交流会
パーベキュー大会
とき 4月27日(日) 午前11時
場所 平和公園
(上板橋駅北口徒歩5分、教育科学館そば)
会費 大人500円 子ども200円
幼児は無料
*野外でのパーベキュー大会です。皿、箸、コップと、おにぎりなど主食をご持参ください。飲物は実費販売します。どうぞお誘い合わせのうえ、ご参加ください。
◆陽光保育園後援会・総会
とき 5月30日(金) 19時
場所 陽光保育園ホール
*陽光保育園にとって後援会はなくてはならない組織です。日頃ごぶさたの方も、顔を合わせて話し合いませんか。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

児集
4歳児クラス 1名
*お問合せは、陽光保育園、または板橋区保育課まで。

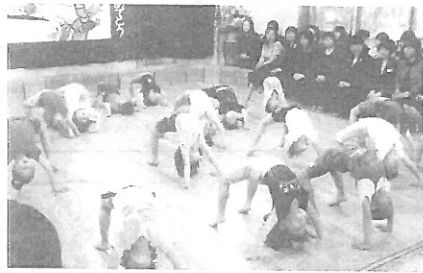
陽光保育園

第59回 卒園式が行われました

三月二〇日の春分の日、陽光保育園の第59回卒園式が行われました。小雨まじりの肌寒い日でしたが、陽光保育園のホールは、子どもたちの演技や演奏で熱気むんむん。大きな声で歌ったたくさんの歌、練習を重ねた荒馬おどりや側転、コマまわしなどの披露。「子どもひとりひとりが主人公」そのままに、みんな晴れ晴れとして、誇らしげでした。リズムや歌で卒園児を送った4歳児クラスの子どもたちも満足そうでした。



上右：全員がきれいにコマを回せました
上左：大きな声で思いっきり歌った歌
左：マズルカのリズム。床のひもは自分で布を編んで作った縄跳び用の縄です
下右：全員で踊った荒馬おどり。荒馬の布は絞り染めで作り、竹の軸に布をとりつけるのも全部自分たちでやりました
下左：ブリッジも全員が上手にできました



佐々木正美先生

おとなと子どもが育つとき

二〇〇八年三月八日、児童精神科医・佐々木正美先生をお招きして、学習会「おとなと子どもが育つとき」を陽光保育園で開催しました。これは、一人のお母さんの、「佐々木先生の話を聞きたい」という声から始まった、三年越しの企画でした。当日は、陽光保育園のホールにあふれんばかりの約一五〇人の参加がありました。先生のお話を聞き、わが子の顔を思い浮かべてうなずかれていた方、また、痛いところをつかれ、苦笑いされている方もいらつしやいました。きつと、これからの育児や生活の励みになったことと

思います。
(陽光保育園父母の会会長 佐藤美妙)

◎寄付のご協力ありがとうございます (2007年12月1日～2008年3月20日)
木南菊枝、前原芳子、内田高子、牧野礼子、上野悦子、伊東靖子、山下澄子、陽光会財政部財政活動 (父母の会・職員・後援会・理事会)

◎社会福祉法人陽光会・建設財政連絡会より
今年度の目標は60万円でしたが、4月1日から3月20日までの財政活動収益(物品販売他)と寄付金の合計は884,278円になりました。皆さまのご協力に心から感謝いたします。今後とも、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

◎寄付のお願い
1口5000円(何口でもけっこうです)
下記口座に振り込みをお願いいたします。
郵便振替口座 口座番号 00140-0-260468
口座名義 陽光保育園建設委員会
*寄付金控除の対象になります。領収書が必要な方はお書き添えください。

家族をすべて失って...

シリーズ **戦争と私**

新井京子・述

「泥水すすり、草を食み」とは、私たちの逃避行を一言で表現しきっている。食料も水もとうに尽き果て、極限の飢えと渴きの中で恐怖だけが歩を進ませている。前を行く軍馬の蹄の跡に溜まる泥水をなめ、ブドウの葉を食んで渴きに耐えた。川はあっても岸には近づけない。敵兵の狙撃が待っていたから。

1945年8月15日、私たちは満州(現在の中国東北部)古城鎮の開拓村で終戦の玉音放送を聞いた。とりあえず3日分の食料をリュックに詰め込んで、私たち(女と子どもと老人たち)が村を出たときにはすでにソ連軍に包囲されていた。迫りくる砲弾の中を私たちは山に向かって死にもの狂いで走った。近くで砲弾が炸裂し、姉が倒れた。私より三つ上の13歳。一握の土さえかけてもらえず姉は打ち捨てられた。村から出たことのない私たちは迷子も同然。山中で出会った軍隊だけが頼りだった。万に備えて各自に1個、子どもにいたるまで手榴弾が手渡され、「敵にあってただ死ねな! 1、2、3で投げつけて、敵をやっつけて死ねように」との指示。昼間は目立つので、移動はすべて夜だった。暗闇の中を息を殺し音をたてずに進んでいく。ふやけた足にゴム長があたって痛む。黄土は雨が降ると泥沼となって、膝上までのぬかるみになる。足をとられ悲鳴を飲み込んで必死だった。いつのまにか小さい子どもの姿が徐々に消えていく。山頂近くの小さな小屋に住んでいた中国人の老夫婦が、私たちの惨状を見かねてか、コーリャンを炊いて持ってきてくれた。初めて口にすると真っ黒なコーリャンのご飯。これが彼らの常食だったのだ。その心の温もりが生きる力を与えてくれた。

1946年9月、故郷の青森の駅に降り立ったとき、灰塵に帰した駅前一角にポツンとあった水道管。ひん曲がった蛇口からチョロチョロと水が漏れていた。どこかで見つけてきた一升瓶の口元いっぱいまで水を汲んできた私に、もう戦争は終わったのだからと母は言ったが、私はその瓶を手離すことができなかった。

中3のとき、その母も死んだ。新京の収容所で再会し、無事を喜びあった父も、1945年の大晦日、発疹チフスで同収容所で亡くなった。父も母も姉も亡くし、私は一人になった。

* 1946年9月、満州(現・中国東北部)から引き揚げてこられた新井京子さんのきわめて過酷な戦争体験、戦場の実像を10歳の少女の目を通して語っていただいた、これはそのご苦労のほんの一部です。(文責 津田のり子) (新井京子:板橋区在住/津田のり子:板橋区在住)

ようこうはいくえんの 一時保育

◆こんなときご利用ください
・保護者の就労・求職・通院・職業訓練・通学・看護・介護など。また、保護者の傷病・災害・事故・出産・冠婚葬祭など緊急時・保護者の生涯学習・子育て不安・リフレックスなど

◆お申し込み・お問合せ
・直接陽光保育園へ(受付10時～17時)。
・緊急時以外は、できるだけ利用される10日前までに申込んでください。
・事前に面接をしていただき、利用日・利用時間を予約していただきます(親子でおいでください)。
・利用料その他、詳しくは陽光保育園までお問合せください。

◆利用日・利用時間など
・月曜日～金曜日の9時～17時
(土曜日・日祝日・年末年始休)
・1歳以上で、離乳の完了しているお子さんから。但し「すくすくカード」(板橋区発行) 利用の方は生後10か月から一日1時間～8時間。ご希望の時間帯で利用できます

ひまわり組の一日

9時	登園 おはよう!
10時	お天気の良い日は、在園児と共に近くの公園へお散歩に出かけます。雨の日は、室内で楽しく過ごします。
11時	配膳・給食
12時	食後はゆったりと過ごします。
1時	お昼寝
2時	
3時	おやつ
4時	お部屋か砂場でもうひと遊び!
5時	降園 バイバイ、またねー

*一時保育は「ひまわり組」といいます。「ひまわり」のように明るくくびのびと、心も体も健やかに育ってほしいと願っています。

お父さんの出番です!!

一人の息子

私は一人っ子なので、自分の子どもにはどうしても兄弟がいて欲しいと思っていました。ママは、産むのは大変だから双子がいいなんて言っていました。結果、双子は生まれませんでした。

伊吹にとって、家族内の私の地位は最下位です。1番ママ、2番お父さん、3番お兄ちゃん、4番お父さん。なつかない原因としては、私は帰りが遅く、子どもたちはほとんど寝ている状態で、私のつけいる隙間はありません。ずっとママに甘える状態で、私のつけいる隙間はありません。

本人は「ママ、ママ」と呼んで泣き出し、結局ママと朝ご飯を食べています。しかし、不思議なことに、私が寝ているときは「パパ、パパ」と呼んで絡まってくるのです。伊吹の最初の二語文は「パパ、イヤ」です。そんな言葉は嫌なので「パパ、スキ」と教えても、「パパ、イヤ」と言い、可愛くて頬にチューなんてしようものなら、手で私の顔を叩いてきます。そんなにお父さんのことがイヤなんだろう。機嫌が悪いときは私の手を引っ張って、絵本を見せてくれたり、電車のおもちゃを見せてくれたりします。一緒にいる時間が少ないので、多少はしかたがないかと思っはいますが、遊んであげようと思えば、「ママ、ママ」とママに抱っこをせられて逃げいきます。親の気持ち子不知とはまさにこのような状況なんですよ。

早く帰って遊んであげたり、お風呂にも入れてあげたい。そして兄弟二人を褒めかけたかったり、成長してもう少し大きくなれば、母親ができない男親としての遊びが少なくていいかな、ある程度は仕方ないことなのでしょう。

男の子なので、成長してもう少し大きくなれば、母親ができない男親としての遊びをしてあげ、伊吹を私に振り向かせてやると野望に燃えています。さらに大きくなれば、親からも離れていくのですから、子どもたちのために時間を使ってあげたいです。

(0歳児クラス・伊吹の父 木村友彦)